



西岡 友香さん
ココロラボインターナショナル平井3丁目

水泳コーチ志望だったが、学校のゼミで子供たちに触れあったことがきっかけで保育士に。その後、異業種に転職するも、保育士の仕事の良さを再認識し、復職。

自分が一番輝ける場所に、もう一度。 改めて気づいた保育の楽しさ。

専門学校を卒業してからしばらく保育士として働いていたんですが、若いうちに保育士以外の仕事にも挑戦し、様々な人と関わって視野を広げたい、経験値を高めたいと思って、一度保育の仕事から離れたんです。でも他の仕事をやってみて、やっぱり子供と関わる仕事の方が向いてるなど。それで保育の現場に戻ることを決め、両親からの「向いてる仕事だし、自分の思ったようにやればいい」という言葉にも勇気づけられ、保育士の転職サイトを利用して今の園に復職しました。

復職してからは、日々子供たちと関わっていく中で、以前よりも格段に笑顔になる時間が増えました。毎日「ゆかせんせい」と呼んで頼ってくると本当に嬉しいですし、大人では見過ごしてしまうような小さな発見を共に喜び、一緒に生活し信頼関係を築いていくことで、保育士としてのやりが

いを改めて感じることもできました。保育士同士も仲が良く、不安なことや思っていることを相談し合える時間があるので楽しんで働けていますし、本当に復職して良かったと感じています。迷っている方は是非たくさんさんの園を見て、私のように自分の条件に合った園を見つけてほしいですね。

保育園の声 voice

保育士の就業環境は年々改善されてきていますが、働く上で大切なのはやっぱり人間関係。特に入ったばかりの頃は保育方針や保育観等、いろいろ戸惑うこともあるかもしれませんが、相談できる相手を職場でたくさん作ることで、リラックスして仕事ができるようになると思います。



2016

大規模認可
保育園で
保育士デビュー

就 職

2020

異業種で自分の
視野を広める
ため退職

退 職

2020

受付、事務、
カウンセラーなど
を経験

転 職

2020

ココロラボ
インターナショナル
に保育士として
復職

復 職



今こそ資格を活かして社会のために。 未来ある子供たちと過ごす刺激的な日々。

私は、保育士として5年間働いた後、夢だったカナダに渡ったんですが、日本に帰国してからも、保育とは別の仕事に就いてました。しかしある日、保育士不足をニュースで知り、「何か協力できるんじゃないか」と考えて。それが復職のきっかけです。今の園にはたくさんさんの園に電話を掛け、10か所ほど園見学した末に出会えました。復職する際には、年齢的にも体力的にも本当についていけるのか、正直不安でした。しかし、20年以上保育から遠ざかっていても、実際に子供たちを前にしたら体はしっかり動きましたし、逆に体調が良くなりました。子供たちと過ごす毎日とはとても刺激的。今もたくさんパワーをもらい、笑顔で過ごせています。

ムーズにできるものです。それに一度、保育現場から離れて違う場所で新しい経験を積んだことで、今までとは違った視点を持って子供たちと向き合えたり、それを今度は保育へと生かしたりすることもできるはず。子供たちの成長の瞬間に立ち会える素晴らしさを思い出して、まずは一歩踏み出してほしいと思います。



大坂 弥子さん
もりのなかま保育園亀戸園

5年間保育士として就業後、幼少期からの夢だったカナダへ。帰国後は保育とは異なる分野に就業していたが、昨今の保育士不足の現状に一念発起し、復職。

ブランクが心配な方もいるでしょうが、体も心も昔の感覚をちゃんと覚えていて、思ったよりもス

保育園の声 voice

保育は経験や思いやり、感性、想像力、気づきの力など、様々な力が活かされる仕事。一見、保育とは関係ないようなことも、現場で活かせることが多くあります。他業種に転職されていた方は、是非その経験を活かし、誇りをもって「自分らしい保育」の実現にリトライしてください。



1990

短大卒業後、
区立保育園で
保育士デビュー

就 職

1995

ワーキングホリデー
で憧れの
カナダへ

退 職

1996

帰国後、異業種で
就業しつつ、度々
海外短期滞在

帰 国

2020

もりのなかま保育園
に保育士として
復職

復 職



境 美津子さん
フロンティアキッズ加賀町

子育て中に保育士資格を取得するも、実務経験がないことなどから就業を断念し、調剤薬局に18年勤務。しかし知人との会話で保育士就業の思いが再燃し、保育士として転職。

やっぱり保育士になりたい。 あの頃の思いを胸に、ラストチャレンジ。

息子の卒園式の際に涙を流して成長を喜んでくれた保育士さん。その姿に感銘を受け、私もこんな仕事してみたいと思い、保育士資格を取得するのが30年前。ただ当時は子育ての真っ最中でしたし、保育の専門学校にも行ったこともなかったのが不安で、結局保育士になることはあきらめたんです。その後、医療事務の仕事に長年従事していたのですが、定年を間近に控えたある日、知人と会っていたときに思いがけず保育の話になり、昔感じていた「保育士になりたい」気持ちがふつふつと湧いてきて。年齢的にもこれがラストチャンスという思いで挑戦することを決意しました。幸いにも知人の紹介で保育士として現在の施設で勤務できましたが、とにかく知らないことばかり。今でも研修や園の仲間のアドバイスを受けながら勉強の毎日です。しかし子供たちの成長に合

わせて環境を準備し、アイデアを出して活動を考える楽しさ、そして子供たちがそれによっていきいきと活動し、笑顔を見せてくれることに、大きな喜びとやりがいを感じます。子供たちの成長を肌で感じられるこの仕事。一度でもやってみたくてと思ったことのある方は、是非挑戦してみてください。

保育園の声 voice

他業種から保育士に転職された方の良さは、保育に対する凝り固まった考えがなく、常に人の意見を聞き、第三者的な視点で物事を見て行動できること。保育未経験の方でも、他の仕事で培ったものは必ず役立ちますし、密なコミュニケーションを意識すれば十分活躍できると思います。



1992

子育ての勉強も兼ね、保育士資格を取得

資格取得

2001

医療事務の仕事に18年間従事

就職

2019

保育士就業を目指し、定年前に退職

退職

2019

フロンティアキッズで保育士デビュー

転職



今ならわかる子供を預ける保護者の気持ち。 ママさん保育士として広がる可能性。



平井 明日香さん
Manamana保育室

弟が通う施設の保育士に憧れ、地元の九州で保育の道に進む。結婚を機に退職して東京に転居し、保育士として復職。現在は育児休業中。

地元の九州で保育士をしていたんですが、結婚を機に東京に引っ越してきて今の園に復職しました。初めて来た場所で自分に合う園を見つけられたのは、保育人材・保育所支援センターの保育人材コーディネーターのおかげですね。仕事探しを始めて3カ月、復職したくてもリアルな情報がなくて途方に暮れていたときに相談したのですが、その後すぐに就職先が見つかったんですから。気持ちも楽になりましたし、本当に助かりました。私は復職して4年後に子供を授かり、現在は育児休業中ですが、子供を産む前にはわからなかった、園の子供たちの家での様子がいろいろわかるようになりました。子供を持つ親の気持ちがわかるようになった今は、もっと保護者の気持ちに寄り添いながら対応し、子供たちと一緒に育てていくことができていると思っています。子育て中の復職

は大変でしょうが、それを経験することで保育士としての幅も広がっていく気がします。是非諦めずに自分に合った職場を見つけて戻ってきてもらえるとうれしいですね。保育士は子供たちの笑顔や成長を見守ることができる素敵でやりがいのある仕事です。私も復職するのが今から楽しみです。

家族の声 voice

職場での話を聞くと、本当に子供が大好きで、一人ひとりにしっかり向きあって保育をしている様子が目に浮かびます。現在は園長先生からのサポートもあり、育児をいただいておりますが、復職してからも自分の信念を曲げずに自信をもって楽しく保育ができることを願っています。



2011

九州の大規模認可保育園で保育士デビュー

就職

2016

結婚後、東京に転居するため退職

結婚・転居

2016

東京で復職、Manamana保育室へ

復職

2020

復職は2022年4月を予定

産休・育休